

**輸血部ニュース**

広島大学医学部附属病院輸血部

発行：高田 昇

編集：藤井輝久

No.26 2000年10月23日 TEL: 082-257-5580-5582 内線：2940-2942

FAX: 082-257-5584

**厚生省の輸血に関するガイドラインをご存じですか？**

1999年6月に厚生省医薬安全局から輸血に関するガイドライン（正式名；「血液製剤の使用指針」及び「輸血療法の実施に関する指針」）が出されました。今回のガイドラインの特徴は、科学的根拠が明確でない輸血の適応については除外しており、根拠に基づいた医療（Evidence based Medicine; EBM）を目指したより具体的な基準が示されています。

このガイドラインに示されている各輸血製剤の適応について、輸血部ニュース等でご紹介していますが、まだ充分にご理解いただいているとは思えない使用が見られます。

また10月は4月に次いで人事異動の多い時期です。他院であまり輸血に関与することなく過ごされてきた先生方も、できれば本院で医療に従事されるこの機会にガイドラインを一読され、輸血に関する新しい知識を得ると共に、安全で適正な輸血療法の実現にご協力いただきたいと思えます。

輸血部には、ポケットサイズの輸血に関するガイドラインの小冊子を揃えています。ご希望があれば差し上げますので、ご連絡いただければ幸いです。



ご連絡先  
輸血部  
内線 2942  
または 2945

参照： 輸血部血液保存室  
FFP 保存冷凍庫前のポスター

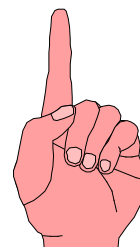
**FFP の使用適応基準は**

- 1) PT 活性度が 30%以下
- 2) APTT が 52 秒以上
- 3) 濃縮製剤のない凝固因子の補充
- 4) 24 時間以内で 70ml/kg 以上の大量出血
- 5) TTP/HUS、血漿交換などの特殊な場合

のみです。

あなたの患者さんは適応基準に入っていますか？

輸血部



## 本院における輸血の実態（1998,1999 年度）

本院における 1998 年度と 1999 年度の輸血血液製剤の使用状況について報告いたします。（表 1 参照）

これを見ますと 98 年度に比べ 99 年度では、総輸血件数、赤血球製剤や新鮮凍結血漿（FFP）の使用件数、自己血輸血の件数が減少しています。逆に血小板製剤は増加しています。全赤血球製剤使用件数に対する自己血輸血の割合は、両年度とも約 7%となりました。

減少/増加率は、総輸血件数は 2%減、赤血球製剤が 6%減、FFP 9%減、血小板製剤 14%増です。輸血を受けた患者の内訳を把握していないので単純な比較はできませんが、FFP の使用の減少は、99 年に改訂された厚生省の輸血に関するガイドラインが影響を及ぼしていると推測で

きる数字です。

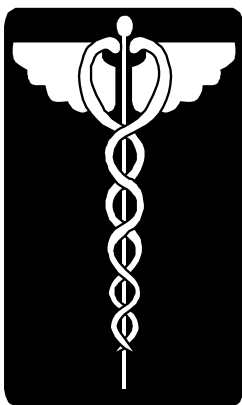
この度のガイドラインで、使用に関し適応が最も厳密となったのが FFP です。私たちはこのガイドラインが遵守された場合、FFP の使用は半減すると予想していましたが、それを下回る結果となりました。また同時に 5%アルブミンの使用が増えることも予想されました。院内の使用本数を調べますと 98 年度で 2139 バイアル、99 年度で 2498 バイアルと微増しましたが、これも予想を下回ったと言えます。

血小板製剤の使用は増加しています。しかし一方で末梢血幹細胞移植件数（98 年度 13 件、99 年度 16 件）が増加していますので、それが影響を与えたのかも知れません。

表 1：1998 年、1999 年度の院内輸血血液使用量

|         | 赤血球製剤 | 血小板製剤  | 新鮮凍結血漿 | 自己血輸血 | その他 | 総輸血件数   |
|---------|-------|--------|--------|-------|-----|---------|
| 1998 年度 | 7,907 | 23,825 | 9,342  | 633   | 7   | 8,797 件 |
| 1999 年度 | 7,463 | 27,395 | 8,585  | 565   | 2   | 8,648 件 |

\* 単位表示 \*その他：全血製剤や緊急の院内採血での輸血



### 《輸血部からのお願い》

- 1.HCV-RNA 検査で、定量と定性は同時にオーダーされても保険請求ができません。必ずどちらか一方ずつでオーダーしていただくようお願いします。
- 2.輸血同意書の不備が目立ちます（例：輸血に同意した日の記入漏れ、各項目のチェックボックスのチェック漏れなど）。同意書に不備があると、輸血に対して同意が得られたことになりません。輸血同意書はもれなく記入して輸血部に提出して下さい。